

「RCC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」

2020年度の募金による「音の出る信号機」を設置

「音の出る信号機」贈呈式&渡り初め

2020年の「RCC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」で皆様からいただいた募金総額は667万7,663円。この募金で音の出る信号機を広島県内に、新たに3基設置することが出来ました。設置場所は、広島市安佐南区中筋「中筋駅南交差点」、呉市本通り「寺迫運動公園入口交差点」、福山市三吉町「三吉町南1丁目交差点」です。10月21日（水）に広島県警への「贈呈式」を行い、午後には稼動。「中筋駅南交差点」で淵上アナと共に、地元の目の不自由な方や視覚障害者団体の役員の方々が「渡り初め」を行いました。

チャリティ・ミュージックソンの音の出る信号機の寄贈は合計35基となり、県民の皆様からいただいた募金の総額は6,500万円を超えました。なお、今年度も「RCC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」は11月1日に募金スタート、12月24日～25日は、24時間の特別番組で皆さまにご協力を呼びかけます。



■ 渡り初めの様子（広島市安佐南区・中筋駅南交差点）



■ アストラムラインと高速バスの連携地点であり、安佐南区文化センターもあることから、視聴覚障害者の方からの要望が多かった場所。



■ RCC宮迫社長から
広島県警増田交通部長に目録を贈呈。



■ ラジオカー中継では、目の不自由な方から音の出る信号機への感謝と喜びの声が聞かれました。



■ 今年も11月1日から募金受付開始

今回の3基の設置により、広島県内に音の出る信号機は、計319基となりました。RCC ラジオ・チャリティ・ミュージックソンでは、35基の音の出る信号機の設置となりました。

